

平成27年度

# 募集要項

離島人材育成基金助成事業

離島人材育成基金助成事業知的支援型

離島人材育成基金助成事業視察研修型

助成率がUP!  
更に使いやすくなりました!!

あなたの島の新しい地域づくりをサポートします。

## 目次

### 1 助成事業応募要領

1. 応募対象	1
2. 助成対象事業	1
3. 助成金額	2
4. 応募期間	2
5. 審査及び助成事業決定	2
6. 事業実施期間	2
7. 応募方法	2
8. その他	2

### 2 申請の手引き

1. 助成金支給申請書(様式第1号)	3
2. 助成事業計画書(別紙1)	4
3. 旅行行程表(別紙2)	4
4. 旅費積算内訳書(別紙3)	4
5. 記入例	5
6. 助成実績	13

# 事業の目的

離島住民の自主的な島づくり活動をバックアップするため、自分たちの住む島の将来を自ら真剣に考え、自ら意欲的に行動する人材の育成を目的に、毎年度全国的に助成事業を行っています。



## 1 助成事業応募要領

### 1. 応募対象

離島に在住している人、もしくは離島で活動しているグループ・団体等とします。

### 2. 助成対象事業

自ら新たに取り組む事業で、平成27年4月1日から平成28年2月29日までの間に行われる、次の事業とします。

助成事業の種類	事業の内容
離島人材育成基金助成事業	①離島の産業振興に係る事業
	②離島の生活・文化・福祉の向上に係る事業
	③他地域との交流推進に係る事業
	④その他人材育成に必要な事業
// (知的支援型事業)	①(島学・島塾型) 島の人達を中心となり、自分の島のもつ可能性の発掘、協力し合っでの実態調査、島づくりへの活かし方等の議論を行う事業。
	②(島づくり交流型) 近隣地域も含め、島づくり・地域づくりに関連する経験や創意工夫の交流を行い、新しい可能性を探る事業。
	③(①と②の複合型) ※年に一度の申請の「離島人材育成基金助成事業」との不公平を防ぐため、①と②の事業にその他の内容を付加した事業は、対象となりません。
// (視察研修型事業)	島づくり先進事例の収集や学習のための視察(研究会等への参加も含む)を目的とします。 ※本助成の対象は、2名(夫婦や親子等は除く)までの視察研修に係る経費と致します。

※既存の事業や、運動会・祭り・盆踊りなどの毎年の通常の行事、政治・宗教・営利を目的とする事業、施設整備を伴う事業は対象となりません。

※国または都道府県から補助金を受けている事業、または受けようとしている事業は応募できません。

※他にも条件がありますので、詳しくは、お問い合わせください。

### 3. 助成金額

助成金は、助成率と助成限度額が決められています。

助成事業の種類	助成率と助成限度額
離島人材育成基金助成事業	○助成対象経費75万円未満 助成率：対象経費の5分の4以内(千円未満の端数切り捨て) 助成限度額：1事業につき50万円 ○助成対象経費75万円以上 助成率：対象経費の3分の2以内(千円未満の端数切り捨て) 助成限度額：1事業につき100万円
// (知的支援型事業)	○助成対象経費の額にかかわらず 助成率：対象経費の3分の2以内(千円未満の端数切り捨て) 助成限度額：1事業につき10万円
// (視察研修型事業)	○助成対象経費の額にかかわらず 助成率：対象経費の3分の2以内(千円未満の端数切り捨て) 助成限度額：1事業につき30万円

※人件費、食糧費並びに備品購入費等の、助成金支給対象とならない経費があります。  
※審査結果により助成額が減額される場合があります。また事業の実施状況や予算・決算の状況などを審査し、実際に助成する額が助成内示額を下回る場合があります。

### 4. 応募期間

#### (1) 離島人材育成基金助成事業・同視察研修型事業に申請する場合

平成27年1月5日(月)から平成27年2月9日(月)までとします。この期間内に、申請書類を各市役所・町村役場離島振興担当課にご提出下さい。

#### (2) 知的支援型事業に申請する場合

本事業は通年で募集を行っており、随時、受け付けます。事業開始日の40日前までに、申請書類を各市役所・町村役場離島振興担当課にご提出下さい。

### 5. 審査及び助成事業決定

応募いただいた事業は運営委員会で審査します。審査結果は市役所・町村役場を通じて通知します。

### 6. 事業実施期間

平成27年4月1日(水)から平成28年2月29日(月)までとします。

### 7. 応募方法

(1) 助成事業申請書ならびに助成事業計画書等の必要書類を作成のうえ、各市役所・町村役場離島振興担当課へ提出して下さい。

(2) 知的支援型事業の申請にあたっては、「〇〇島学(島塾)事業」、「〇〇島、島づくり交流事業」等、知的支援型であることが明確に分かるタイトルを付けて下さい。また、視察研修型事業の場合は、「〇〇への視察研修事業」として下さい。

※離島センターに直接送付されても受け付けられません。必ず市役所・町村役場を通して応募して下さい。  
※申請をお考えの方は予め日本離島センター人材育成基金担当までご相談されることをお勧めします。(ただし採択は保証できません)

### 8. その他

- (1) 支給申請書ならびに助成事業計画書等の書き方は、記入例をご参照下さい。
- (2) 公式ホームページ「しましまネット」(URLは最終面参照)で所定の様式をダウンロードできます。
- (3) 助成事業に採択された方・団体へは、別途、事業実施要綱をお送り致します。

## 2 申請の手引き

### 1. 助成金支給申請書(様式第1号) .....

様式第1号

平成 年 月 日

公益財団法人日本離島センター  
理事長 白川博一 殿

住 所 (〒 )

申 請 者 氏 名 印

「平成27年度離島人材育成基金助成事業」  
助成金支給申請書

「(一事業の名称)」について助成金の支給を受けたく、下記のとおり関係書類を添えて申請します。

記

1. 助成金支給申請額 金 円 (消費税を含む)
2. 助成事業計画書 (別紙様式のとおり)
3. 収支予算書 (別紙様式のとおり)
4. 添付書類

## 2. 助成事業計画書(別紙1)

(別紙1)

### 助成事業計画書

#### 1. 事業の名称

#### 2. 事業内容

- (1) 事業の具体的内容と実施方針
- (2) 事業の効果と目標
- (3) 事業実施期間並びに事業実施スケジュール
- (4) 実施者(担当者)
- (5) 連絡先
- (6) 報告の方法

#### 3. 収支予算

収入		(単位:千円)
区分	予算額	備考

支出		(単位:千円)
区分	予算額	備考

注)備考欄には、各区分の算出基礎を記入すること。

## 3. 旅行行程表(別紙2)

(別紙2)

### 旅行行程表

月日					備考			
	□	—	□	—	□	—	□	
	□	—	□	—	□	—	□	

注)本表は、研修先、交通手段等旅行行程が明確にわかるように作成する。

## 4. 旅費積算内訳書(別紙3)

(別紙3)

### 旅費積算内訳書

月日	出発地	経路	到着地	鉄道運賃	バス代	航空運賃	船賃	宿泊料	雑費	計
合計										

注)申請者が団体にあつては、1人当りの旅費について積算する。

## 5. 記入例

様式第1号

公益財団法人日本離島センター  
理事長 白川博一 殿

平成〇〇年〇〇月〇〇日

日付、郵便番号、申請者の捺印を忘れずに！  
株式会社や有限会社等による申請は不可です。

(〒〇〇〇-〇〇〇〇)

申請者 〇〇県〇〇郡〇〇町夢の島1-1  
夢の島いきいき倶楽部  
代表 島一郎 印

「 」内は、申請する事業の名称  
をご記入下さい。

「平成27年度離島人材育成基金助成事業」  
助成金支給申請書

「夢の島ボランティアガイド養成事業」について助成金の支給を受けたく、下記のとおり関係書類を添えて申請します。

記

- |             |   |
|-------------|---|
| 1. 助成金支給申請額 | 金 600,000円 (消費税含む)  |
| 2. 助成事業計画書  | 別紙様式のとおり  |
| 3. 収支予算書    | 別紙様式のとおり  |
| 4. 添付書類     | 助成事業計画書 (別紙1)<br>旅行行程表 (別紙2)<br>旅費積算内訳書 (別紙3)<br>関係者名簿 (別紙4)<br>関係者打ち合わせ会開催状況 (別紙5) 等 |

「助成事業計画書(別紙1)」以外は、必要に応じて添付して下さい。

※団体の規約や定款、登記簿等は不要ですので添付しないで下さい。

提出書類はこの様式に則り、A4版縦で作成して下さい。

※本計画書は、書き方がイメージしやすいように、ボランティアガイドの養成を例に、作成してみたものです。

(別紙 1)

## 助成事業計画書

1. 事業の名称 夢の島ボランティアガイド養成事業

2. 事業内容

(1) 事業の具体的内容と実施方針

①どのような「目的」で、②どのような「事業」を行うのか、③その事業は何故あなたの島に必要なのか、なるべく具体的にご記入下さい。

※視察研修型では、視察先との意見交換会、帰ってからの報告会を必ず行って下さい。

<具体的内容>

私たちの島は、〇〇や△△などの歴史、□□などの固有の文化が存在するが、島内でも、高齢者から若者に伝承されておらず、消えつつある。また、本土からの観光客にも、それらの価値を十分に説明できておらず、島の価値を受け継ぎ、伝えられる人材の育成は、交流人口増加の面からも急務となっている。

そこで、住民の中から来訪者・転入者等に対して島の魅力を分かりやすく伝えられる「ボランティアガイド」を広く募り、養成講座を通して地域の文化を再認識するとともに、外部に向けて夢の島を積極的に情報発信できる人材を育成する。

具体的には次の事業を行う。①島の資源調査／②ガイドマニュアル・島の地域資源マップ作成／③養成講座の開講／④ボランティアガイド実地研修／⑤島づくり大学にて集合研修受講。

実施する「事業」を、どのような考え方や姿勢で行うのか、ご記入下さい。

<実施方針>

専門家の指導を受けつつ住民自らが島を調査し、島の地域資源の価値を再認識する。その結果を広く住民に共有し、将来的には住民のすべてが島の語り部となることができるように事業を進める。

また、ガイド実地研修では、来島者のニーズを住民一人一人が把握し、これからの島づくりに役立てることができるよう、明確な評価項目を定めて、実践的に行う。

島づくり大学の集合研修では、同じ悩みを持つほかの島の仲間と積極的に交流する。

(2) 事業の効果と目標

<効果>

島の高齢者が各種講座などの指導者役となることで、高齢者が自信を取り戻し、島づくりの有力な人材となることが期待される。また、住民自身が“島の宝探し”に取り組むことで、人任せではない住民主体の島づくり運動となることが期待される。

集合研修に参加することは、専門的な知識を得るほか、ネットワークを拡げるとともに、島外者の視点で島を客観的に見ることができるようになる。

事業の効果には、「イベントにより、島を愛する意識を高め、もって島の活性化を図る。人口流出を止める」というような漠然とした大きな効果ではなく、事業の直接的な効果をご記入下さい。

<目標>

以下の目標で本事業を実施する。

- ①自然、歴史などの分野別の「島の資源調査」を10回実施する。調査結果は、ガイドマニュアル・地域資源マップ作成、「養成講座」に反映させる他、公開し今後の観光振興に役立ててもらおう。
- ②「島の資源調査」結果を精査し、ガイドマニュアル(A4判)、地域資源マップ(A3版両面カラー)を作成する。地域資源マップは、観光客、島内の観光関係施設に配布し活用してもらおう。
- ③自然、歴史などの分野別に「養成講座」を10回開講し、30人のガイドを養成する。なお、受講生は、広報や公民館への掲示などで募集し、50人を目標に募集する。
- ④実地研修を2回実施する。明確な評価項目を設定し、受講者の8割がA評価を受けられるように努力する。

- 実施する「事業」の回数や目標を記入下さい。目標設定は「○○を何回実施して(○○人に講座を受講させ)、どのように活用する(○○人をガイドに養成する)」というように、なるべく数字を入れて、具体的にお書き下さい。
- 設定した目標が、事業を実施してどの程度達成されたか、事業終了後「自己評価」して実績報告書等で報告していただきます。

(3) 事業実施期間	平成27年4月1日～平成28年2月29日
実施スケジュール	①島の資源調査(10回) 4月～11月
	②ガイドマニュアル・地域資源マップ作成 8月下旬～12月
	③講座の受講者募集 7月下旬～9月
	④担当者の集合研修への参加 9月
	⑤養成講座の開講 10月～12月 (10回開講：自然、文化・歴史、産業、人物・島の匠等)
	⑥ガイド実施(実地研修) 1月～2月
	⑦報告書作成 2月
	⑧報告書提出 3月10日

- 報告書の作成までを事業実施期間として下さい。すべての事業は、遅くとも2月末日に終了し、3月10日には報告書を提出(必着)して下さい。
- 視察研修型は、行程を具体的に記述して下さい。(いつ、どこで、誰と会う・何を視察する等)

- (4) 実施者（担当者） 夢の島いきいき倶楽部 事務局長 波風 隆  
(5) 連絡先 〒 ○○県○○郡○○町夢の島1-1  
電話番号 (○○○○) ○○-○○○○  
fax 番号 (○○○○) ○○-○○○○  
e-mail

- 事業についてお問い合わせさせて頂くことがありますので、確実に連絡が取れ具体的に説明できる担当者の方の連絡先をご記入下さい。(郵便番号もお忘れ無く！)
- 送付書類が戻ることがあります。確実に届く住所をご記入下さい。

- (6) 報告の方法 実績報告書を提出するとともに、以下のものも併せて提出する。
- ①実施状況の分かる写真
  - ②DVD
  - ③ガイドマニュアル・地域資源マップ
  - ④ホームページのコピー
  - ⑤意見交換会の議事録

- 助成を受けて作成したものはすべてご提出下さい。
- 実績報告書も、所定の様式がありますのでご注意下さい。(実施要綱は、採択者にのみ、お送りします)
- 視察研修型では、研修成果を、島内に広く呼びかけ、住民対象の報告会を実施して下さい(行政職員の出席必須)。実績報告書には、視察研修で学んだ点、それを今後どのように活用して島づくりを行うか具体的に記述して下さい。

### 3. 収支予算

(収 入)

(単位：千円)

区 分	予 算 額	備 考
1. 助成金収入	600	離島人材育成基金助成金
2. 寄付金収入	100	島内各種団体より
3. 自己負担金	200	
合 計	900	

(支 出)

(単位：千円)

区 分	予 算 額	備 考
1. 諸 謝 金	100	養成講座講師謝礼金@10,000×1人×10回分
2. 旅費交通費	38	別紙2、別紙3を参照
3. 委 託 費	0	
4. 消 耗 品 費	120	教材費用 @12,000×10回分
5. 印 刷 費	230	テキスト（ガイドマニュアル）印刷費 @10,000×10回分 島の地域資源マップ印刷費 100,000円 資料等コピー代その他 30,000円
6. 通 信 運 搬 費	101	参加者への開催案内等諸連絡郵送費 20,000円 マスコミ等各社への情報提供に係る郵送費 11,000円 インターネットでの情報提供に係る通信費 70,000円
7. 借 上 料	300	養成講座会場借上料@10,000×10回分 資源調査に伴う車・船借上料 20,000円×10回分
8. 雑 費	11	
合 計	900	

注) 備考欄には、各区分の算出基礎を記入すること。

- 予算額は千円単位でご記入下さい(千円未満は四捨五入で計算下さい)。
- 備考には、積算根拠を漏らさずに記入下さい(備考欄の金額は、円単位でご記入下さい)。
- 費目の区分は、この区分と順番で記入して下さい(適切な区分がない場合は任意で作成して下さい)。  
なお、支出のない費目(上記の場合、委託費)は削除していただいて結構です。
- 経費の振り分けについては、次ページの表を参考にして下さい。
- 計算間違いにご注意下さい!
- 旅費交通費は、多くても、合計金額の4割程度に留めるようにして下さい。また、諸謝金や委託費の金額が著しく大きい事業、経費全体に占める割合が高い事業も、助成制度の趣旨にそぐわないと判断されることがあります。
- 各費目間の流用は、申請時予算(支出)の15%以内とします。それを越えた流用については、助成対象経費から除きます。
- 視察研修型の対象経費は、2人までの視察に係る旅費、謝金、報告会会場費、報告書印刷費等とします。

- 会議やイベントの飲食に伴う「食糧費」、事業終了後も財産として残る高額な「備品購入費(目安は1万円以上)」、スタッフやアルバイトに支払う「賃金(人件費)」、資格取得の「受講料」等は、助成金支給対象経費とはなりません。
- 助成支給対象外の経費は、計上されていても除外して助成金を計算致しますので、ご注意ください。
- 費目の振り分けは、間違っても問題ありません。

経費は、下表の例を参考に振り分けて下さい。

区 分	内 容
1. 諸 謝 金	外部の指導者（講師）などの専門家に対する謝金。 （菓子折など物品による謝礼は、助成対象外です。） （事業申請者本人や団体構成員に対する謝金は、助成対象外です。） （アルバイト代などの人件費は、助成対象外です。）
2. 旅費交通費	事業実施に必要な、団体構成員や外部指導者（講師）の交通費及び宿泊費。 公共交通が不便な地域での移動用としてのレンタカー代。 （グリーン料金や航空機等の特別料金は助成対象外です。） （ワークショップやモニターツアーなどの参加者の交通費・宿泊費などは、助成対象外です。） （公共交通が不便な地域でのタクシー利用については、ご相談下さい。）
3. 委 託 費	HPの作成など、専門的な作業を外部に委託する際の費用。 （高額ないし事業費に占める割合が高い場合は助成対象外です。）
4. 消 耗 品 費	事業に直接必要でかつ安価な物品（消耗品）の購入費。 （文房具やコピー用紙の購入費、インク代などとなります。）
5. 印 刷 費	ポスター、チラシ、パンフレット等の印刷製本費。 資料のコピー代など。（助成金で作成したすべての製作物・印刷物には（公財）日本離島センターの離島人材育成基金助成事業の助成を受けている旨を明示して下さい。）
6. 通信運搬費	郵送料や事業に直接必要な物品等の宅配便代。 インターネット通信費や事業に直接必要な連絡の電話代など。 （私的な使用と区別できるように通信事業者発行の明細を提出して下さい。）
7. 借 上 料	講座の開講や打ち合わせ会議等に必要な会議室などの会場借用料。 事業に直接必要な物品のレンタル代。 （消耗品と見なされない物品を事業に使用する場合は、レンタルで実施し、その費用を借上料に計上して下さい。）
8. 雑 費	少額かつ上記経費項目に含めることができない諸経費。

※この表は、（別紙1）には含まれませんので、申請書作成の際は、転記する必要はありません。

(別紙 2)

### 旅行行程表

9月28日	夢島港	船	希望港	バス	希望の丘 駅	鉄道	大学前	備考 島づくり大学寮 に宿泊
9月29日								島づくり大学寮 に宿泊
9月30日	大学前	鉄道	希望の丘 駅	バス	希望港	船	夢島港	

注)本表は、研修先、交通手段等旅行行程が明確にわかるように作成する。

(別紙 3)

「経路」には、主な経由地をお書き下さい。

### 旅費積算内訳書

	出発地	経路	到着地	鉄道運賃	バス代	航空運賃	船賃	宿泊料	雑費	計
9月28日	夢島港	希望港	大学前	350	400		15,000	3,000		18,750
9月29日								3,000		3,000
9月30日	大学前	希望港	夢島港	350	400		15,000			15,750
	合計			700	800		30,000	6,000		37,500

注) 申請者が団体にあっては、1人当りの旅費について積算する。

○旅費は、事業経費の4割程度となるように、事業を計画して下さい。

○あまりに旅費が多い事業は、助成額の減額、事業自体の不採択になる可能性があります。

(別紙 4)

### 関係者名簿

事務分担	氏名	住所	職業
代表	島 一郎	〇〇町夢の島1-1	商店経営
事務局長	波風 隆	〇〇町夢の島1-2	漁師
会計	〇〇 〇〇	〇〇町夢の島〇-〇	漁協職員
会員	〇〇 〇〇	〇〇町夢の島〇-〇	養殖業
〃	〇〇 〇〇	〇〇町夢の島〇-〇	役場職員
〃	〇〇 〇〇	〇〇町夢の島〇-〇	農協職員

- ・当倶楽部は、島の青年部有志により組織された団体です。数年前より、島づくりのために何かしようと話し合っていたメンバーで、平成22年〇月〇日に立ち上げました。
- ・まだ規約等は定めていません。
- ・過去の活動実績は、島のお祭りにあわせた特産品メニューの開発や試食販売、先進地の視察などで平成22年〇月から、4年間の活動実績があります。

- どのような団体か、簡単にご記入下さい。例えば、「島の青年部有志を母体に組織」や「婦人部の会」などです。またメンバーの人数が多いようでしたら、主な方の名簿で構いません。
- 団体の規約がある場合、添付していただいても、添付しなくても構いません。規約を定めていなくても問題ありません。
- 過去の活動実績があれば、簡単にご記入下さい。

(別紙 5)

### 関係者打ち合わせ会開催状況

開催日	会議内容	場所
平成26年〇月〇日	事業計画案について検討した。	公民館会議室
平成26年〇月〇日	収支予算について検討した。	〃
平成26年〇月〇日	申請書を作成した。	〃

- 今回の申請に伴い、事前に団体で打ち合わせを行っていただければ、簡単にご記入下さい。
- 特に打ち合わせを行っていない場合は、添付は不要です。

## 6. 助成実績

### 平成25年度

市町村名	事業名と内容(趣旨)	事業申請者
新潟県 佐渡市	【トキとホタルが舞う里づくり事業】従来行ってきた活動を深化するため、①ビオトープの生き物観察が出来る人材の育成や教材作成、②ホタルの生育環境の保全のため、生息調査等が出来る人材の育成を行う。	潟上水辺の会 代表者：板垣徹
広島県 三原市	【塔の峰桜プロジェクト】交流人口増加のため、①桜の木のオーナー制度の導入、②ボランティアガイドの養成、③柑橘の収穫ボランティアの導入、④視察研修を行う。	向田区 区長：奥野悟
香川県 丸亀市	【塩飽ひろしま島案内人養成事業(女性の視点を活かした島案内)】今まで知られている歴史資料ではなく、主に女性達が伝えてきた民話や遊び、郷土料理などを、①地区ごと(9地区)の聞き取り調査、②ガイドマニュアルやマップ作成、③案内人養成講座を行う。	ふれ愛の町ひろしまをつくる会 会長：横瀬實
福岡県 福岡市	【滞在型観光を促進する人材育成事業】昨年度事業の成果を踏まえ、今年度は滞在型観光を促進するため、①発掘した地域資源共有、②ツアーストーリー構築、③体験プログラム作成、④ガイド育成、⑤モニターツアー実施を行う。	小呂島しまづくり協議会 会長：池田哲也
長崎県 杵岐市	【杵岐四国四十八ヶ所巡り先達ガイド養成と全国島へんろサミット開催事業】島の財産である「島へんろ」継承のため、①歴史調査と標識作成、②先達ガイドの養成、③島へんろサミット開催、④グッズ開発を行う。	杵岐・島おこし応援隊 チーム防人 代表：中山忠治
熊本県 天草市	【島一横浦島-御所浦島不知火海で育む伝馬船インストラクター】交流人口増加を目的に伝馬船インストラクターのスキルアップや新規ガイド養成のため、①基礎調査、②マニュアル作成、③養成講座、④子ども対象の伝馬船教室、⑤島巡りワークショップ、⑥競漕大会への出場等を行う。	御所浦アイランド ツーリズム推進協議会 会長：黒田忠廣
熊本県 上天草市	【談合の島・湯島に若者呼び込みのための仕組みづくり-企画立案作業の実地体験を通して島おこし人材を育成する-】人材基金助成事業の成果を実践に活かすべく、「湯島活性化協議会」を立ち上げ、関係機関と連携し、①大学生とのワークショップ、②熊大キャンパス周辺への情報窓口設置、③還有明海・不知火海連携「平成の談合」を行う。	上天草市商工会 会長：田中亨
鹿児島県 奄美市	【奄美島おこし「ミツバチ×日本そば」プロジェクト】高付加価値農業のため、①「ソバ」栽培、「ミツバチ」飼育マニュアル作成、②耕作放棄地の整備、③ミツバチ育成、④講習会開催、⑤テストマーケティングとアンケート調査を行う。	特定非営利活動法人 環境教育推進協議会 奄美支部長：伊波興一郎
鹿児島県 奄美市	【水産物特産品開発事業】水産業における特産品開発のため、未利用魚等の活用により、①専門家による新商品開発指導、②市場調査、③商品ラベル作成、④新商品発表会を行う。	奄旨海房魚匠 代表者：山下勤一
沖縄県 久米島町	【未来へ続く、島の魅力、新発見事業】島の住民に対し、移住者目線で島の楽しみ方を体験頂くため、①各種体験講座、②島内観光講座、③観光資源調査、④指導員養成、⑤テキスト、マニュアル作成を行う。	島の魅力新発見 プロジェクト 代表：木村陽二
沖縄県 南城市	【久高人芸能祭「黄金の瓜ざねの心」】イザイホー復活のきっかけにつながるよう、「久高島由来記=黄金の瓜ざね」を上演する。	久高人芸能祭 「黄金の瓜ざねの心」実行委員会 委員長：西銘武良
合計	8県 10市町 11事業	

注) 上記の他、知的支援型事業として、静岡県熱海市「被災者に学ぶ、防災講話」事業、新潟県佐渡市「佐渡・岩首地区における食文化の再発見と継承に向けた島学(島塾)事業」、三重県鳥羽市「防災講演会『離島の防災を考える会』事業」が採択。

### 平成26年度

市町村名	事業名と内容(趣旨)	事業申請者
宮城県 気仙沼市	【気仙沼・大島復興人材育成事業】津波被害からの復興のため、大島中学校と共催で、①語り部教室、②コンサート、③ウォーキングマップ作成、④PC教室を行う。	気仙沼・大島教育旅行 誘致協議会 会長：村上満
宮城県 気仙沼市	【外国人観光客誘致のため小値賀島視察研修事業*】「トモダチ作戦」後に増加した外国人観光客を更に誘致し、日本人観光客増にもつなげるため、小値賀を視察し受け入れノウハウを得る。	気仙沼・大島きずな 情報センター協議会 代表：堺健
宮城県 石巻市	【再生網地島ひと・もの・こと再発見マップづくり事業】島内外に網地島の魅力を発信するための人材育成として、①勉強会、②島の魅力調査、③「再発見マップ」作成を行う。	ジョイフル網地島 代表：小野喜代男
新潟県 佐渡市	【トキの島・みんなの里山再生プロジェクト】豊かな生態系回復のため、①里山林の整備、②外来種駆除、③里山活用の人材育成を行う。	(一社)佐渡 生きもの語り研究所 理事長：仲川純子

新潟県 佐渡市	【佐渡王国センター(仮称。佐渡観光、U・I ターンセンター)設置事業*】移住者や定住者サポート組織立ち上げのため、先進地視察を行う。	佐渡マスターズ 代表：橋口秀樹
三重県 鳥羽市	【兵庫県坊勢島・家島への視察交流研修事業*】島内各種団体により鳥羽市離島と共通する姫路市離島を視察し、島特有の資源による活性化と島間連携を進める。	全国離島振興 鳥羽協議会 会長：木田久主一
三重県 志摩市	【店がない島の「里海カフェ」起業実践スクール】起業のトレーニングとして、①カフェの企画立案運営、②テストマーケティング体験、③決算書作成等の経理作業体験を行う。	間崎島振興会 代表：佐藤珠樹
三重県 志摩市	【直島・豊島・犬島視察研修*】アートの島として名高い島々を視察し、観光資源育成、情報発信方法、取り組み方などを学び、観光誘致、意識改革につなげる。	志摩市離島振興協議会 会長：茶呑潤造
島根県 隠岐の島町	【生き生き島づくり！実践型若手人材育成プロジェクト】地域活動に消極的な若い世代中心の実行委員会を立ち上げ、イベントの企画運営を通じ、自発的・主体的に活動する人材を育成する。	Summer of なかむら らんど実行委員会 代表：稲葉直行
広島県 三原市	【塔の峰桜プロジェクトII】25年度の継続で、①桜の木のオーナー制度の導入、②ボランティアガイド養成、③柑橘の収穫ボランティア導入、④視察研修を行う。	向田区 区長：奥野悟
香川県 丸亀市	【塩飽ひろしま島案内人養成事業(女性の視点を活かした島案内)】25年度の継続で、①地区ごとの聞き取り調査、②研修、③紙芝居作成を行う。	ふれ愛の町ひろしまを つくる会 会長：横瀬實
愛媛県 松山市	【「石垣造りのみかん段畑がある暮らし～中島で暮らそう」人材育成型移住促進就農事業】①みかん段畑復活WS、②写真コンテスト、③映像配信、④直販イベント出展、柑橘販売体験による移住相談に乗れる島の営業マン育成を行う。	NPO 法人農音 代表：田中佑樹
長崎県 佐世保市	【島に響く祝の太鼓！鯨文化を受け継ぐ島人の絆】①祝い唄の後継者育成、②育成の手引き作成、③伝統備品の保存整備と活用、④祝い唄の普及活動を行う。	まえかっちゃん浜勇 代表：松本治一郎
長崎県 五島市	【「五島をジオパーク」に推進事業】ジオパーク認定を目指し、①推進組織設立、②資源調査、③ガイド本作成、④資料収集を行う。	五島の海岸と歴史 散策の会 代表世話人：永治克行
熊本県 上天草市	【湯島観光の新たな常連客の創出】24年度、25年度の継続で、将来的な誘客や1ターンにつなげるため、①学生のキャンプ合宿誘致、②児童生徒の自然体験学習、③訪日外客対象のエコツアープログラム開発を行う。	上天草市商工会 会長：田中亨
鹿児島県 十島村	【トカラ列島共和国「船上トカラ市」プロジェクト】トカラ列島の島間の交流と連携を進めるため、①船上トカラ市開催、②島間交流人材育成、③トカラ特産ゆるキャラ作成を行う。	トカラ列島共和国 代表：山本廣美
鹿児島県 和泊町	【沖永良部島サイクリング観光ガイド養成事業*】サイクリング観光に対応できる人材育成のため、先進地視察を行う。	ziiins 沖永良部島 代表：入佐帥光
鹿児島県 和泊町	【南の島のハーブ「月桃」起業・産業化プロジェクト*】島に自生する「月桃」について、商品開発の先進地視察を行う	NPO 法人心音 理事長：安徳建二
鹿児島県 与論町	【小値賀島・美里町・天草諸島への視察研修*】フットパスを取り入れた体験型観光と民泊を進めるため、小値賀でのツアーガイド体験、熊本県美里町でのフットパス研修、パーマカルチャー視察研修、天草諸島の景観視察を行う。	与論島うんばる地域 協議会 会長：竹盛窪
沖縄県 久米島町	【久米島高校の魅力化を通じた地域活性化事業】久米島高校の魅力化のため、①高校教育に対する地域ニーズ把握WS、②地域に貢献できる高校のための計画書づくりを行う。	久米島高校の魅力化 と発展を考える会 代表：嘉手苅一
沖縄県 久米島町	【琉球列島先達の知恵再現プロジェクト】琉球列島に古くから伝わる植物や自然を活かしての手仕事や工芸の伝承のため、①製作過程の映像記録、②各島での講習会、③広く利用できるようにデータベース化を行う。	木村麗子
沖縄県 竹富町	【8つの島のパイプをつないで町興し～魅力ある品々を県外へ、魅せられた人々を島へ～*】町内の8つの有人離島をつなぎ、観光業と商工業連携のため、先進地視察を行う。	竹富町の島々を元気 にする会 登野盛龍
合計	11 県 17 市町 22 事業	

注)上記の他、知的支援型事業として鹿児島県与論町「与論島、未来の島づくり交流事業」(誇れるふるさとネットワーク)、三重県志摩市「渡鹿野島天王祭次世代継承事業」(渡鹿野区)を採択。なお、\*印は視察研修型事業として採択。また、上記には、申請者の都合による採択辞退も含まれます。

## 手続きの流れ

### 申請書の提出

申請書等の必要書類を作成し、期日までに各市役所・町村役場離島振興担当課へ提出していただきます。

### 応募内容の審査

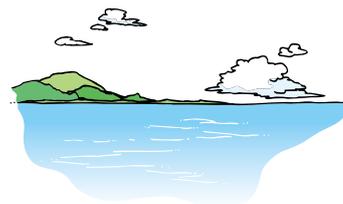
運営委員会において内容審査および助成金額を査定します。(毎年3月)

### 助成事業の決定

助成事業に採択された方・団体へ通知します。(毎年3月)

### 事業の実施

毎年4月1日から事業実施できます。



### 事業の完了

翌年2月末日までに事業を完了していただきます。

### 事業の実績報告

事業完了後、30日以内の実績報告書を作成し提出していただきます。  
(3月10日が最終の締切りです)

### 助成金額の確定

実績報告書に基づき助成金額の査定後、助成額の確定通知書を送付します。  
(査定の結果、減額される場合もあります)

### 助成金の請求

助成額の確定通知書受理後、請求書を送付していただきます。

### 助成金の支払い

請求書受領後、30日以内に助成金を申請者の口座に振り込みます。

※知的支援型事業は通年募集です。  
事業開始日の40日前までに提出して下さい。

あなたのアイデアを待っています!

お問合せ先

公益財団法人 日本離島センター

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-32 全国町村会館西館5階

TEL.03-3591-1151 FAX.03-3591-0036

URL <http://www.nijinet.or.jp>

日本離島センター

検索